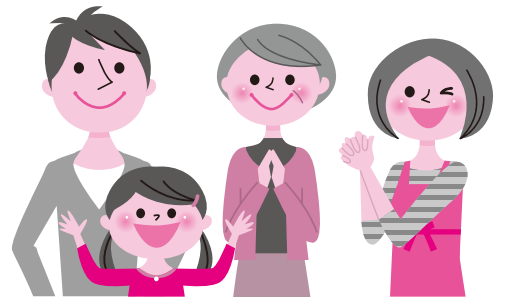


# 「施設配置適正化計画」は **市民との合意形成を第一に** 抜本的見直しを

**市民の声が  
市政を動かす**

「汐入サポセン」の移転をやめ1階で継続  
万代会館と天神島 ビジターセンター は廃止から存続へ



これらの変更は、市民の声の反映であるとともに、当初から指摘してきた市民不在の計画であることが表面化したと言えます。**大村議員**は質疑の中で、市民合意や庁内連携が希薄であると追及しましたが、市長は非を認めませんでした。延べ床面積の縮減を一番に考え、住民や利用者の思いを軽視する姿勢は改めるべきです。今後も市民の立場にたって声をあげてまいります。

施設名	変更内容	主な変更理由
天神島ビジターセンター	廃止→ <b>存続</b>	利用者アンケートで「また利用したい」「利用したい」合わせて90%以上
万代会館	廃止→ <b>存続</b>	地元住民からの存続要望（過去に陳情）
市民活動サポートセンター	1階から3階へ移転→ <b>移転中止</b>	利用者からの要望（市民から署名請願）
坂本コミュニティセンター	長期で廃止→ <b>超長期で廃止</b>	福祉避難所になっているので廃止には不安との声。地元町内会から要請書
浦賀コミュニティセンター（分館）	長期で廃止→ <b>超長期で廃止</b>	地元意見交換会で住民から意見多数

## 放置できない『子どもの貧困』

アンケートなど、前向きな検討を約束… 市長答弁

「塾に通う」「家族旅行をする」「自分の服を買う」などを「剥奪」されている子どもたちがいます。貧困はなかなか見えません。**大村洋子議員**は横須賀の子どもの実態を総合的に調査するべきと訴えました。市長も「実態把握は非常に大切」と答弁しました。

## 子どもの健やかな成長を願って

日本共産党市議団は2月、こども子育て支援新制度のもとで「こども園」に移行した幼稚園や保育園を視察しました。また、統廃合の対象になっているため修繕などを止めている市立保育園の状況や育児環境の向上に果たすべき公立保育園の役割などについても懇談しました。



市内の保育園、こども園を視察、懇談しました。ねぎしかず議員（左）、井坂なおし議員（中）、大村洋子議員（右）

# 子どもはいちばんの宝 笑顔が輝く施策の充実を

日本共産党横須賀市議団

安全・安心・美味しく・楽しい給食は

## 自校調理場方式で

自校給食を望む請願が議会に出され、5000筆を超える署名とともに市民の意見陳述がありました。

**大村洋子議員**は意見陳述や過去の養護教諭や学校長の意見を引きながら、最新鋭の衛生管理であるドライシステムや食物アレルギー対応をしっかり行うための調理場コーナーの設置、アレルギー除去食を調理できるしきみの設置など具体的な議論をし、自校調理場方式の優位性を訴えました。

請願は共産党は賛成しましたが、他党派が「委託調査の結果を受けてから」とのことで不採択となりました。安全で「楽しい給食」を目指して市民のみならずと共に取り組まざるをえません



学校問題

## 教育委員会の透明性の向上を

教育問題

市内中学校で起こった生徒への教師の体罰と不適切発言について、現在、いわゆる第三者委員会が調査をしています。このケースは新聞報道もされているにもかかわらず、教育委員会定例会では報告が一切されませんでした。

**大村洋子議員**の「定例会の議題や報告は誰がどのような判断で上程するのか？」との問いに教育長は「議案は法や規則の規定に基づいて提案する。報告は事務局を統括する私が判断する」と答弁しました。

**大村議員**は「生徒名、教師名を公表しなさいと言っているのではない。こういう事案が横須賀市にはあるということを議事録に残し市民に報告されることが健全だ。今、世の中全体が教育委員会に対して不信感を持っている。このような透明性のない体質は改善されなければならない。」と指摘しました。その後開かれた定例会で報告されました。

## 南スーダンとは即時撤退の状況だ 内戦状態で自衛隊派遣は明白な憲法違反

平和問題

3月24日、第1回定例会の最終日の本会議で、南スーダンからの自衛隊の撤退と駆け付け警護の付与を止めるよう国に求める意見書提出の請願は賛成少数で否決されました。

**ねぎしかず議員**は、組織ぐるみで隠ぺいされた日報で南スーダンへの派遣と駆け付け警護が憲法違反であることがはっきりしたこと、また、3月18日に南スーダンの首都ジュバで自衛隊員数人が政府軍に一時拘束されたことなども挙げ、速やかな撤退は迫られていると賛成討論を行いました。採決は記名投票で行われ、日本共産党の**大村議員**、**ねぎ議員**、**井坂議員**と無党派の藤野議員、小室議員の計5名が賛成しましたが、意見書の提出を求める請願は否決されました。

## 市職員の働き方改革を

労働問題

繁忙期には1ヶ月177時間の残業も

市は労働基準監督署に対して、いわゆる36協定で1ヶ月の時間外労働の上限を70時間と届けを出しています。しかし、過労死ライン（1ヶ月80時間）の2倍以上の177時間も残業をしている実態が判明しました。

**大村洋子議員**の追及で市長も異常な状態と認め新年度から残業を減らすために職員の増員配置と今まで把握していなかった管理職の残業についても実態調査を行うことも言明しました。

しかし、一方で土木部では4名の人員削減。**井坂なおし議員**は、土木部がこれまで切り開いてきた技術や知識が若い世代に伝承されにくくなることを懸念し、人件費は単なるコストではなく人づくりの観点の重要性を指摘しました。

行革・人員削減ありきでは**市民の役に立つ所**にはなりません。

# 市長名刺の「割引サービス」は公選法違反ではないか

## ～日本共産党の大村洋子議員が緊急質問～

大村洋子議員は、吉田市長の名刺を提示すると、軍港めぐり船や猿島への渡船の料金が10%の割引が受けられると記載していた問題で緊急質問をおこないました。

### 選挙管理委員会は市長に6年も前から「法違反のおそれがある」と指摘

市選挙管理委員会は6年余りに市長自身からの問合せに対して、公職選挙法で禁止されている寄付行為の可能性があることを指摘し、さらに、「配布をお控え下さい」とまで指摘していました。それにもかかわらず使用を続けていたことが質疑を通じて明らかになりました。

### 都合の悪いことは「記憶にない」

市長は、選管から指摘されたことは記録に残っているので、事実は認めましたが、「記憶にない」と弁明しています。自分の方

ら問合せ「お控え下さい」と言われたことを無視して名刺を配布し続けておきながら、「記憶にない」とはひどい話です。大村洋子議員は市長の資質に欠けると厳しく指摘しました。

### 市長辞職勧告決議に共産党は賛成しました

緊急質問の後、他の議員から市長の辞職を求める緊急動議が出されました。これまで市長の市政の私物化などで百条委員会でも厳しく指摘され、2回にわたり問責決議も受けてきました。その上、今回の市長の不祥事は、市長自ら決めた「市長及び副市長の服務及び倫理に関する規範」の「信用失墜行為の禁止」に違反するものです。日本共産党市議団は、辞職勧告決議に賛成しましたが、記名投票の結果、24対15で否決されました。



大村 洋子議員

### 水道料負担の軽減を

### 基本水量を他市並みに16㎡にして



私は現在69歳で1人で住んでいます。本市は、2カ月間の使用水量が0～20㎡までが同じ基本料金です。私の使用量は5㎡前後です。せめて、基本料金は他市並みに0～16㎡にしてもらいたいです。

大村議員は市のホームページに投稿された「ボイスバンク」の声を代表質問で取り上げました。

日本共産党市議団は水道の基本水量(2か月)を20㎡から16㎡に変更するべきと毎年、予算要望をしてきました。上下水道局長は「第3次の実行計画の中で基本水量の引き下げの検討をしていきたい」と答弁しました。引き続き実現するまで頑張ります。

### 商店街の灯を消すな 防犯灯として引き継がれます



ねぎしかず議員

共産党市議団は以前より、街路灯を維持することが難しい商店街に対して市が力になるよう求めてきましたが、新年度予算に盛り込まれることになりました。

ねぎしかず議員は質疑を通じて、経済部が4商店街に街路灯解体のための補助金を支出し、市民安全部と協議して街路灯の代わりに防犯灯を設置するなど、連携してやっていくことを確認しました。

また、商店街の街路灯の電気代の補助率を5割からもっと上げていくよう、川崎市の6割という例もあげながら求めました。

さらに、ねぎしかず議員は、多発している高齢者の運転による事故を防ぐためにも、車でなくとも日用品や生鮮品を買いに行けるようにする必要性を指摘し、経済部だけではなく、福祉部や市民安全部とも連携して、御用聞き・宅配事業などを行う「商店街地域連携共同事業」の補助率を格段に上げることを提案しました。

### 特別徴収額の通知書に 事業者の切実な陳情

### マイナンバーを記載しないでほしい



市は従業員の給与から天引きする市民税額を記した「特別徴収税決定通知書」を事業所に送付していますが、この通知書にマイナンバーの記載欄が追加されました。横須賀市では、この欄にマイナンバーを記入し、普通郵便で送る方針であると答弁しました。

質疑を通じて、市がマイナンバーを記入しなくてもペナルティーはないと国税庁が表明していること、記入しない方針の自治体もあること、個人情報保護委員会の厳格なガイドラインを遵守するための経費は1社で百万円もかかるといわれていることなどが明らかになりました。ねぎしかず議員は、「これでは小規模事業所での実施は難しい」と訴え、マイナンバー記入の中止と省令の撤回を国に求める意見書を上げることの陳情に賛成しました。しかし、委員会では審査終了となり、意見書は上げられませんでした。

### 市営住宅の建て替えに PFI はなじまない



井坂 なおし議員

市営住宅の建て替えをPFI(公共施設の設計から建設・維持管理運営を民間の資金と技術や知識を活用して公共サービスを提供する手法)で行う計画が提起されました。

他の自治体では民間業者の仕事を十分にチェック出来ず、後に天井板が落下するなどの事故が起きています。また、民間任せになると建築設計などの知識や技術・ノウハウが若い職員に継承されず、災害時には復興に支障が表れるなどの問題が露呈しています。

受注が大手に限られ、地元業者が優先される制度も不十分で、外部から下請業者が多く参入してしまうおそれもあります。

井坂なおし議員は、PFIの有効性の検証が不十分であり、誰のためなのか、行政の役割と責任を明確にすることを主張し、PFIの手法を採用することに反対しました。

### 変です 現市長の基地に対する姿勢

「軍転法」は横須賀市の市是です。ところが、吉田市政になって基地の観光資源化が強められるなど、基地対策の原点が見失われているのではないのでしょうか。最近の市長の発言などを紹介します。

#### 基地があつての「まちづくり」?

「米軍基地が現実に存在する現状では、基地をどう生かしていくか、その存在を受け止めながらまちづくりをする必要がある。」

#### 福島原発事故の教訓はどこへ?

原子力空母の放射能災害対策の改定で、なぜ原発と空母で避難範囲が違うのかとの問いに、市長は「国のマニュアルに従った」と無責任答弁。

#### 欠陥機「オスプレイ」も、人道支援に役立つ?

「オスプレイは従来機に比べ、災害救援・人道支援活動においても優れた性能を有しているため、半島に位置する本市にとって、災害救援等において重要と認識している。」

#### 艦船の油漏れ事故、調査の報告は求めない?

米イージス艦アンティータムの油漏れ座礁事故。「調査結果を市民に公表し、不安解消を」との追及に、市長は「事故調査が行われて、米海軍が再発防止に取り組むことが大事」と言うだけで、報告は求めない。市民の不安はそっこのけ。

### 石炭火力 は時代遅れ

### 経済活性化にも逆行

### 赤穂と市原の石炭火力発電計画は断念

大村洋子議員は、長期間停止している久里浜の東電火力発電所が再稼働する計画について市長は、なぜ、石炭火力を受け入れたのかと問いました。市長は「国が重要なベースロード電源と位置付けているし、中長期的稼働が見込まれることから経済効果が高い」と答弁しています。

しかし、世界の流れは石炭に対して逆です。地球温暖化防止のためイギリス、ドイツ、ノルウェーは国家レベルで石炭からの撤退を表明しています。世界の名だたる大企業も石炭から再生可能エネルギーに大きくシフトしています。このような世界の流れを全く理解できず、石炭火力に固執する市長の姿勢は環境の観点のみならず、経済活性化の観点から言っても市政を間違った道へ導くものと言わざるを得ません。

再生可能エネルギー100%(RE100)を目指すことを宣言した企業

世界の流れは脱原発と脱石炭。RE100を宣言したのは、BMW、グーグル、コカコーラ、マイクロソフト、フィリップス、P&G、スターバックス、ナイキ、ネスル等、約100企業に広がっています。